



校訓
人らしき人

川西中学校
令和3年度
学校だより

6月7日号

文責：校長 船木智幸

題字 小關脩太郎（脩翠）書

スクールカウンセラーの先生方を紹介します

今年度スクールカウンセラーとして月1回から3回勤務していただく小林知可志先生と、月1回から2回勤務していただく福地舞子先生、年6回勤務していただく大御均先生です。本校の生徒や保護者以外にも、町内の児童と保護者の方もカウンセリングを受けることができます。所属する小学校を通してご相談下さい。今年度もよろしくお願いいたします。



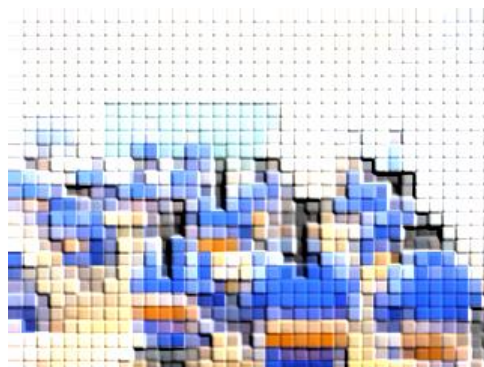
こばやしちかし
小林知可志先生

ふくちまいこ
福地舞子先生

おおみひとし
大御均先生

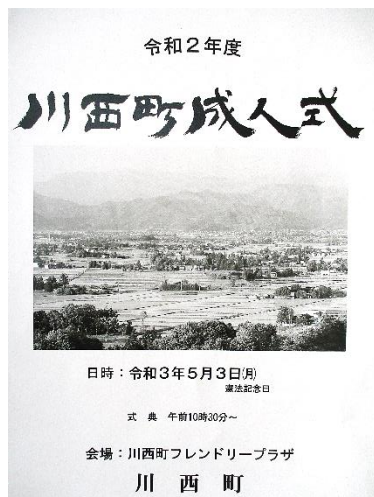
読書活動を進めます

4月22日（木）の6時間目に生徒会の各専門委員会が行われました。町立図書館より司書の遠藤敦子様と鈴木望友様にご来校いただき、図書委員会の活動についてご助言いただきました。これからも、町立図書館と連携させていただき、読書活動を進めていきます。



成人式でも校訓が紹介されました

5月3日（憲法記念日）にフレンドリープラザを会場に川西町の成人式が行われました。午前中に行われた令和2年度の成人式で代表の小関末夢さんが、「今でも心に校訓の『人らしき人』が刻まれており、井上ひさし先生が校歌の歌詞に込めた広き心と清き心、強き心を生涯をかけて身につけていきたい」と答辞を述べました。あらためて、井上ひさし先生が川西中の中学生のために校歌に込められた思いを感じることができました。4月11日（日）に行われた吉里吉里忌に来られた参加者の方から、「川西中の校歌の歌詞が映像にテロップで流れると良かった」との要望が寄せられました。来年度は歌詞を紹介しながら、そして直接ステージで校歌を歌う生徒の姿をお見せできればうれしいです。（成人式のプログラムの題字も小關脩太郎さんの書です）



教育実習がありました

5月17日（月）から6月4日（金）までの3週間、本校の卒業生の横山伊吹先生が教育実習を行いました。担当教科は数学、部活動は卓球で、2年1組を受け持ちました。



キャシディ先生が部活動を見学しました

5月13日（木）の放課後にALTのキャシディ先生に部活動を見てもらいました。川中生が生き生きと練習する姿が「かわいくて、かっこよかった」そうです。「頑張って」との激励の言葉をいただきました。



生徒会スローガンは「咲（さく）」

6月4日（金）に前期生徒会総会を行いました。今年度の



生徒会スローガンは「咲（さく）」に決まりました。原案の説明には「過酷な状況下でも咲く花のように、どんなときも笑顔が絶えず咲いてほしいという願いが込められています。「咲」という字には「わらう」という読み方もあります。「笑顔が咲く」ような活動をしていきたいと考えています」とありました。また、重点活動として「挨拶」に力を入れていくことが承認されました。「挨拶を通して、川西中全体が楽しく、元気で明るい、まるでファミリーのような関係になることができたらと思います」と提案の趣旨にありました。例年、合唱も重点活動に位置づけていましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から今回は盛り込みませんでした。それでも、合唱を大事にしてきた川中生で

ず。全校合唱はできなくても、7月9日（金）に行われる合唱祭に向けて、学級ごとに練習を重ねています。専門委員会の活動計画と予算も承認されました。



学校だより「人らしき人」の題字に、今回の号より本校の前身である川西一中の卒業生である小關脩太郎さんの書を使うことにいたしました。体育館に掲げられた校訓の文字が川中生を毎日励ましてくれています。

